

2018年11月10日

保護者各位

児童発達支援センターうみのほし

評価表の集計結果について（お知らせ）

日頃より当センターの療育にご理解ご協力をいただきまして、心より感謝申し上げます。

9月に配布いたしました事業所評価へのご協力をありがとうございました。10月10日に締め切り、集計後、改善策等を検討いたしましたので、お知らせいたします。

サービス向上に努めていくため、職員や第三者による評価も行い、年明けにはホームページにて公表する予定です。

事業所評価は今後も年一回実施予定ですが、ご意見ご要望はいつでも受け付けておりますので、連絡帳やお電話等でその都度お気軽にお寄せください。

		チェック項目	はい	どちらとも えない	いいえ	わからない	ご意見をふまえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30	0	0	0	《環境・体制整備》 具体的なご意見はありませんでした。療育室やプレイルームは、法律で定められた基準よりも広く設計された建物です。スペースを有効に活用するとともに、個々の障害特性に応じた環境整備に引き続き努めてまいりたいと思います。
	2	職員の配置や専門性は適切であるか	29	1	0	0	
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	28	0	1	1	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの達の活動に合わせた空間となっているか	29	0	0	1	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	28	2	0	0	《適切な支援の提供》 (5, 6, 7)ガイドラインについて 具体的には「説明会で説明を受けていたのに、ガイドラインに照らし合わせることとあまり考えませんでした。」というご感想がありました。「どちらともいえない」「わからない」というご回答もありました。ガイドラインについては4月に説明会でお伝えしていますが、懇談の際にもガイドラインを踏まえて児童発達支援計画の目標設定をおこなっていることを改めてお伝えしてまいります。 (9) 保育園との交流について 「園で他の子と関わっているのに健常児とわざわざ活動する意味がわからない」「大変かと思いますが、もう少し回数があってもよいかと思います」「機会があったと思いますが、子どもの様子がわからなかったか」と「あまり交流の機会がなかったと思います」というご回答がありました。 隣接する認定こども園うみの星保育園との交流を例年10月から後期に実施しています。自己評価をいただいた9月までは行っていなかったことから新入園の方から「交流の機会がない」という回答があったかと思えます。また、少ない機会ではありますので、共生社会をめざすための交流について今後さらに充実させてまいりたいと考えています。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「支援児童発達支援の提供すべき支援《*4月の療育説明会で説明したものです》」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	27	2	0	1	
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	29	1	0	0	
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	29	1	0	0	



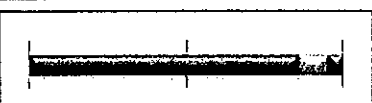


	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	16	10	1	3	
保護者への説明等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	29	0	0	1	《保護者への説明等》 (12)家族支援プログラムについて 「アドバイスのものはあるが、ペアレントトレーニングとは思えない」という回答がありました。 当事業所では、お母さんの会である「ティータイム」、お父さんの会である「トークでナイト」、先輩保護者との交流の機会でもある「学園会」等の活動を通してご家族支援を行事の中で心がけてまいりました。しかし、子どもとの関わりを具体的に援助することを求められてきています。 そこで、CAREというプログラムを地域の医療関係者のご協力をいただきながら研修しております。保護者の方に実際にプログラムとして提供できるように準備をすすめております。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	29	0	0	1	
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)が行われているか	28	1	1	0	(13)保護者との共通理解について 「毎日の活動の中でも様子や『できたこと』を教えてもらえるのは本当にありがたいのですが、同時に叱られたり注意されたりしたこともちゃんと教えてほしいです。帰宅後元気なく、『もしかして・・・?』と思うこともあるので・・・。保護者に言えないような叱られ方ならやめてほしいです。」というご意見ご要望がありました。 連絡帳での毎日のやりとりは、お子さんの共通理解に欠かせないものとなり、感謝しております。お子さんの気になることについてお伝えするようにいたします。帰宅後、気になる様子がありましたら、遠慮なく早めにご連絡ください。今後も保護者の方と連携を密に、一緒に成長を応援したいと考えております。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	29	1	0	0	
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	0	0	0	
	15	父母の会や保護者会等の活動の支援や開催等により保護者同士の連携が支援されているか	27	3	0	0	
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	2	0	0	(16)保護者からのご相談について 「困ったこと、相談したいことには本当に熱心に対応していただいていると思います。ありがとうございます」との回答がありました。保護者の方のお力になりたいと全職員同じ気持ちでおります。どうぞいつでもお気軽にご相談ください。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	0	0	0	

	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	30	0	0	0	
	19	個人情報の取扱に十分注意されているか	30	0	0	0	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	28	1	0	1	<p>《非常時の対応》</p> <p>緊急時の対応に関しては4月の説明会で紙面で確認してまいります。</p> <p>「個人情報の取扱の関係上難しいかもしれませんが、たとえばクラスごとにLINEグループを作って連絡を取りあうなどするとスムーズにいくのではないかと先日の地震のとき思いました」というご意見をいただきました。お察しの通り、個人情報の関係上当事業所からLINEのグループ作成のご案内は難しいと考える。災害時の連絡は、今のところ、①年2回練習を行っております「災害伝言ダイヤル」の活用②玄関への掲示③電話による連絡をお願いしております。よりよいシステムがあれば今後検討してまいります。</p>
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	0	0	0	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	27	2	0	1	<p>《満足度》</p> <p>「基本的には満足しています」とのご回答がありました。皆様と皆様の後に続く方々のためにも、ご意見はいつも歓迎しております。よりよいサービスの質の向上のためにお寄せください。</p> <p>また、欄外に「お休みが少し多いかな」というご意見がありました。労働法規との兼ね合いの中でできるだけセンターを開所しております。職員の勤務体制などの課題を解決しながらご要望にお応えしてまいりたいと存じます。これからもどうぞご意見をお寄せください。</p>
	23	児童発達支援センターうみのほしの支援に満足しているか	29	1	0	0	


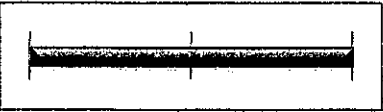

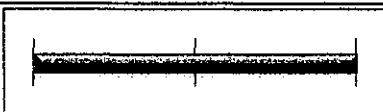
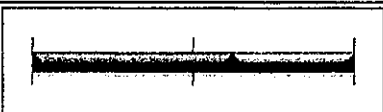
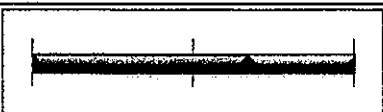
この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者の皆様から「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

2018年度 事業所における自己評価結果(公表)

公表:2018年10月10日






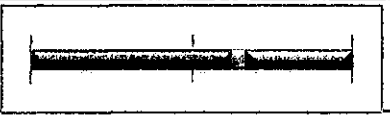
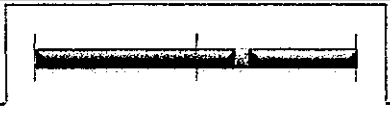
チェック項目		はい	いいえ	不明	工夫している点	
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		18	0	3	
	2 職員の配置数は適切であるか		17	2	2	職員が休んだときは、他の職員が入るという点が工夫していると思う。 全体で見ると余裕はなく感じるが、余裕があるクラスが他クラスを手伝うなどしている。 各クラス4人ずつは配置した方がより子供たちにとってよいのでは？と思うこともある。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配置が適切になされているか		18	2	1	カードや写真を使い視覚的にわかりやすく生活空間が工夫されている。 視覚的支援(絵カードやスケジュール)などをその子が理解しやすい形式で作成している。 一度使ったきりにはせず、よりわかりやすいものにするため、改善点を見つけ出し次回につなげるよう努めている。 すべての子どもに情報伝達が適切にされているとは言えないが、不安や混乱している子どもにも配慮して環境設定を工夫している。 絵カードを使ってスムーズに次の行動に移れるように試みたり、パーテーションで必要に応じて部屋を区切って活動している。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもの達の活動に合わせた空間となっているか		20	1		空気の入れ換えや除湿器などを置いて、清潔で心地よく工夫されている。 活動に合わせた構造化をしている。(体操や動的活動をするときは棚を移動して広くスペースを取るなど) 環境整備を行っている。
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		20		1	毎月月末に振り返りを記入し、業務改善に役立っている。 具体的な振り返り日などは設定せず、子どもと関わる日々の療育の中で気がついたことをその都度話し合っている。

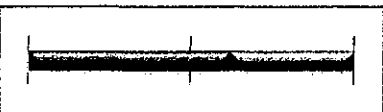
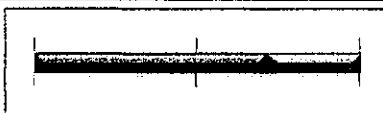

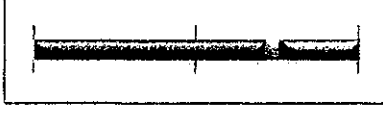
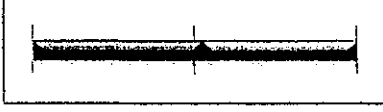
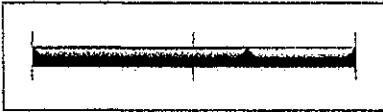
業務改善
業務改善

6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか			
		11	1	9
7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の室の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか。			
		7	4	10
8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			
			21	
9	職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか			
		21		
10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか			
		13		8
11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			
		14		7

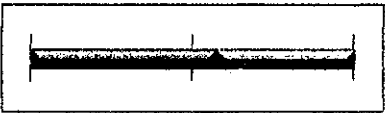

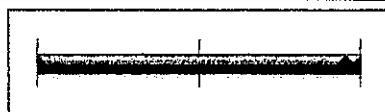
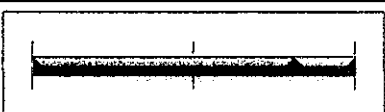
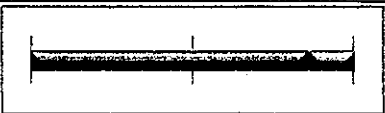
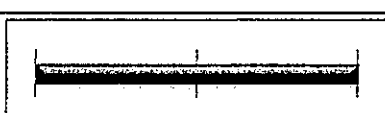
適切な支援の提供

適切な支援の提供	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の発達支援(本人支援及び移行支援)、「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	14	7		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	4		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	17	4		
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15	2	4	行事等の練習で遊びの幅が狭まるのが時々見られるため、日々活動内容には変化をもたせたい。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	13	8		子どもがあと少しがんばればできることを児童発達支援計画の目標や課題に取り入れている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	13	2	6	必ずしも打ち合わせをしていない。 当日できないときは前日に行っている。 時間があり、かつ、必要な場合は打ち合わせをしている。


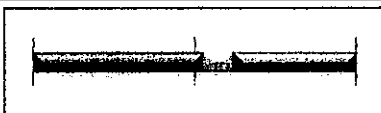
関係機関や保護者	18	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		13	2	6	必ずしも打ち合わせをしていない。 気になることや気づいたことは担任間で話しているが、担任全員が周知し、一貫した支援ができるまでに時間がかかることがある。 毎日行うことは現状では難しいが、その都度打ち合わせをしている。 時間をみつけてできるだけしている。 療育後話し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか		14		7	療育の中で子どもの行動を記録し、その記録をもとに改善につなげている。 子どもの行動は記録しているが、支援に関しての記録はされていないように思う。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援改革の見直しの必要性を判断しているか		14		7	
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか		14		7	当センターの担任、保護者、相談支援専門員と年に1~2回話し合いの場がある。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか		16		5	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		13	1	7	放課後デイサービスを利用する子どもがいる場合はそのデイサービスと支援内容の情報共有をしている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		13	1	7	

こ の 連 携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		15	1	5	研修はなるべく参加したいと思っている。 年に一度、他の事業所と研修・交流をしている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか		15		6	うみの星保育園との交流を行っている。 隣接の認定こども園うみの星保育園行事「うみの星ランド」に参加している。 隣接している保育園との交流療育がある。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		7	5	9	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		15	1	5	連絡帳を使い、毎日の子どもの様子を伝えることで園での過ごし方を知ることができる。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		11		10	ティータイム(お母さんの集まり)で、子どもとの関わり方や、困っていることへの対応について園長が話をしている。 保護者からの相談内容に合わせた情報提供を心がけている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		14		7	

保護者への説明責任等

<p>33 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか</p> 	12	9	
<p>34 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか</p> 	17	4	保護者がどんなことで悩んでいるのか、保育士が相談にのり、支援を行っている。
<p>35 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか</p> 	20	1	保育士とだけでなく、保護者同士で会話をすることで共感し不安がなくなると思う。
<p>36 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか</p> 	17	4	独断で判断せず、他の職員にも確認してから対応することでより正確で適切な対応ができるよう努めている。
<p>37 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか</p> 	18	3	
<p>38 個人、情報の取扱に十分注意しているか</p> 	21		個人情報や園外に持ち出さないことになっている。

非常時等の対応	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか		17	4	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか		5	7	9
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		20	1	災害伝言ダイヤルを実施し、保護者が体験できるようにしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		21		毎月避難訓練を行っている。 地震や火災が合ったときにすぐに避難できるように避難訓練を実施している。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか		18	3	
	44	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がなされているか		16	5	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		18	3	ヒヤリハットの問題を会議で改善している。

46		19	2	<p>虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか</p> <p>毎月不適切な対応防止チェックシートを書いて提出している。</p>
47		11	2	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか</p> <p>身体的拘束は行っていないが、職員の園内研修等で先のことを知らせている。身体拘束を行うようなケースは今のところ扱っていないが、会議(クラス会議、ケース会議等)で保護者の同意を得なければならないことは把握している。</p>